

つくばで輝く研究者

SUGAI Naoto

菅井 直人 さん(33)

株式会社クラレ イソブレンカンパニー ジェネスタ事業部開発部
つくば研究センター 博士(工学)



つくば研究センターで

新潟県出身。長岡工業高等専門学校物質工学科卒業後、東京工業大学有機材料工学科に編入。同大学院有機・高分子物質専攻博士課程修了。2011年4月から3年間、日本学術振興会特別研究員。2014年株式会社クラレに入社し、イソブレンカンパニージェネスタ事業部開発部配属。つくば研究センターで、ポリアミド系プラスチック「ジェネスタ」の銘柄開発を行う。

「日常を支える素材」

耐熱性と強度に優れ、自動車やスマートフォンなどに使用されるスーパーエンジニアリングポリアミド系プラスチック「ジェネスタ」の難燃銘柄の研究開発を行う。燃えにくく製造しやすいプラスチックの開発で安心安全な社会の実現を目指しています。展示会などにも積極的に参加するほか、顧客との折衝で情報収集や共同開発を進めることも重要な業務となっている。

「最近は特に、海外案件の進捗に大きな達成感を得ています」

〈原点は「実験好き」〉
新潟県刈谷市生まれ。

小さい頃から自然への興味が高く、野鳥観察や天体観測などに夢中になっ



研究開発の実験風景

安全・安心な社会実現へ 難燃性プラスチック開発

た。理科の授業が何よりも楽しみだった生粋の理系男子は長岡高等専を卒業後、東京工業大学に編入。同大学院で留学(米国・イリノイ大学)や学芸会参加などを経験し、2014年に博士(工学)を取得した。大好きだった実験への思いが強く、就職先を選んだのは化学メーカーのクラレ。研究に煮詰まった際気軽に周囲に相談できる恵まれた環境の中、商品化まで社内外の関係者やチームプレーで開発に取り組み。「高専で、ものづくりの視点、ことをしっかり学ばないと、今につながっています」。首都圏や空港に近く、社外研究者らと交流機会も多いつくばでの研究に大きな魅力と可能性を感じている。

精神へと表現される教育重視の文化を持つ長岡市と似ていると感じる。今年2月に実施されたつくば市主催イベントでは、科学への強い興味を持つ多くの子どもたちと向き合った。「研究開発に従事する者として非常にうれしく思いました。今後、この街で科学教育に関わっていききたい」

ポツティエリやフェルメール、ダビンチの作品鑑賞が趣味で、一番印象に残ったのはオランダで見たフェルメールの「真珠の耳飾りの少女」。最近には新潟の郷土料理やスイーツなどを作るため、キッチンに立つ時間も増えた。「1日党としてはたくさんのお洋菓子店があるのもつくば市の魅力。夏はかき氷が楽しみですね」

つくばの暮らし

つくば市は「米百俵の



2月に行われた科学イベントでの1コマ

世界のあしたが見えるまち。

つくば市委託事業